

4.2. FTCSスキーム

これにvon Neumannの安定性解析を行なってみる. $u_j^n = g^n \exp(i(j\theta))$ として

$$g^{n+1} e^{ij\theta} = g^n e^{ij\theta} - \frac{1}{2} \nu (g^n e^{i(j+1)\theta} - g^n e^{i(j-1)\theta})$$
$$\therefore g = 1 - \nu \sin \theta$$

$g = |g| e^{i\phi}$ として

$$|g| e^{i\phi} = |g| (\cos \phi + i \sin \phi) = 1 - \nu \sin \theta$$

$$\therefore |g|^2 = 1 + \nu^2 \sin^2 \theta, \phi = -\arctan(\nu \sin \theta)$$

移流方程式の解析解は $u(x, t) = u(x - ct)$ なので

$$|g|_{ex} = 1, \phi_{ex} = -\nu \theta$$

なお, これは

$$|g|^2 = 1 + \nu^2 \sin^2 \theta \geq 1$$

なので考えるまでもなく常に不安定になってしまう.

$$u_j^{n+1} = u_j^n - \frac{1}{2} \nu (u_{j+1}^n - u_{j-1}^n)$$

4.3. Lax-Friedrichのスキーム

FTCSスキームと同様に

$$u_j^{n+1} = u_j^n - \frac{1}{2}\nu(u_{j+1}^n - u_{j-1}^n)$$

まで離散化する. このままでは絶対不安定となって役に立たないスキームなので, 平均操作で解を安定方向へ持っていくようにする(後述). つまり右辺の u_j^n を

$$u_j^n = \frac{u_{j+1}^n + u_{j-1}^n}{2}$$

$$\therefore u_j^{n+1} = \frac{1}{2}(u_{j+1}^n + u_{j-1}^n) - \frac{1}{2}\nu(u_{j+1}^n - u_{j-1}^n)$$

Von Neumannの安定性解析をすると

$$g = \cos \theta - i\nu \sin \theta$$

$$\therefore |g|^2 = \cos^2 \theta + \nu^2 \sin^2 \theta, \phi = -\arctan(\nu \tan \theta)$$